

CAOS 2 1 感想記 術者側の気持ち

岡田眼科
副院長 宮田 信之



3年前に岡田眼科に CAOS の皆さんに来て頂いて以来、毎年参加させて頂いています。いつもライブで手術される先生方のすごさに感動しておりました。まさか私がやるようになるとは思っていませんでした。今までライブなどやったことはないし、手術に知らないひとが見に来ると緊張してなかなかいつも通りできない自分でした。昨年ライブをされた荒井先生に7月にお会いする機会があり、アドバイスをお願いすると「すごく緊張する。いつもの7割の力ができれば OK ですよ！先生は自分のクリニックでやらないのならなおさら厳しい〜！」と言われ8月3日が段々と近づくにつれて日々緊張が高まってきました。

当日、午前中に井上先生が淡々と楽しそうにライブをされている姿をみて本当に羨ましく思いました。とにかく無事に終わることを祈るばかり！昼食は藤田先生のクリニックであんなにおいしいうどんを用意して頂いたのに、ぶっかけ1杯軽く食べるのがやっとでした。

いざ本番が始まると下江先生が「私がまずやりますので先生はみなさんに説明をお願いします！」と元気よく切り込み隊長のように言われ、思わず「はい」と答え、女医さんは度胸がすわってすごいなと感じました。周りを見渡すとお昼のとき笑顔でいた先生方が別人のごとく真剣にこちらをくいるように見えて私の説明のひとことひとことを聞いていました。これはすごい！見るのと見られるのはおお違い、激しい緊張の中「先生出番です」と言われ、遂にきたかこの瞬間！周りを見ずに顕微鏡に集中しました。



幸いにも大きな出血もなく順調に終わりほっとしました。手術中より手術が始まるまでが大変でした。この経験は私にとって、とても貴重ですばらしいものとなりました。自分でもこういうことができるのだという奥に眠っていたもうひとりの自分を発見したような気がします。



これも藤田先生をはじめ下江先生、手術室を含めた藤田眼科のスタッフの皆様、そして細川さんのおかげをもちましてできたことで、心より感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。そして、代表世話人の禰津先生をはじめ CAOS の皆様、これからもよろしくご指導のほどよろしくお願い致します。